

【河川】 本格的な出水期に備え防災体制を確認 「洪水対応演習」を実施しました!

平成30年4月20日
山形河川国道事務所

1. 経緯／概要

- 山形河川国道事務所では、毎年、本格的な出水期を前に大規模な出水・堤防決壊等の重大災害を想定し、地域の防災活動の適切な判断・行動につなげるよう洪水時の河川等の水位、流量などの情報を関係機関に迅速かつ的確に伝達し、洪水時の防災体制に万全を期するため「**洪水対応演習**」を実施しました。

【日 時】 平成30年4月20日(水)9:00～17:00

【場 所】 山形河川国道事務所 災害対策室

【参加機関】 山形河川国道事務所職員(南陽・長井・寒河江出張所含む)約40人参加
河北町、山形地方气象台などの関係機関:約60名参加

2. 訓練メニュー

- (1) 洪水予報・水防警報指定河川の情報伝達演習
- (2) **ホットライン(電話)**による事務所長と河北町長との情報提供・共有演習
- (3) 整備局と事務所間の**TV会議**による情報伝達演習
- (4) 平成30年5月1日から最上川水系で始まる**緊急速報メールの配信操作訓練**を実施
- (5) 河川巡視点検及び報告などの演習・訓練
- (6) 堤防決壊等被災箇所の緊急復旧計画、工法の検討

3. 訓練の様子



ホットラインによる情報伝達演習状況



TV会議による情報伝達演習状況



緊急復旧計画の検討状況